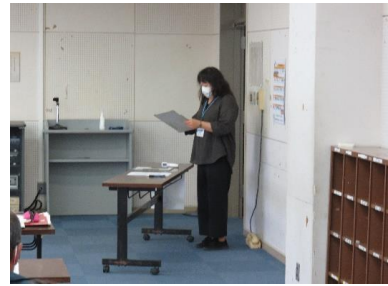


# 令和4年度 古文書を読む会 第1回

令和4年 6月9日(木)

古文書の基礎・基本  
講師 筑紫敏夫 先生

開校式



2022年度 第1回 高津古文書を読む会  
**地域史を知って今を知るための手掛かり**  
～古文書の基礎・基本～  
2022. 6. 9. (木)  
於、高津市立市民館  
筑紫 敏夫  
千葉県文化財保護協会 理事  
関越の地域文化を学ぶ会 幹事長

はじめに

1. 古文書の歴史  
①古代：奈良時代～徳川文書など  
②中世：鎌倉時代～室町時代  
③近世(江戸時代)  
御家文(おいえりあき)への字体の統一  
幕府や藩政の公文書に使用。  
一般民へも寺子屋などを通じて普及。  
④近代：明治時代以降  
文字の機能の公的な側面はなくなる。文字に個性が出てくる。  
活字が普及。
2. 料簡制度と古文書  
①近世の古文書の種類  
幕府文書、 康楽文書、 寺社文書、 公家(朝廷)文書、  
商人文書、 文官関係文書、 村々(地方)じかた)文書  
②村々文書と支配システムの関係  
なぜ、大量の村々文書が残されたのか。  
「地方の時代」、「文書の時代」  
料簡制度  
近世の武士は、城下町に居住する。領内内の村には、原則的に住まない。

No. 1

3. 文化財としての古文書の保存を  
\*九十九歳いけし博識翁の大書房
- \* 1 東日本大震災  
姓名章など文化財の救出活動。ネットワークが活用できる。  
\* 枕詞ありで、重たい。自然劣化による古文書の消失  
\* 「御社家書庫」(江戸時代の蔵書記録)が蔵書数判所の数種から発見される。  
\* 近現代の蔵書記録の部分が遺存中。
- \* 公文書の管理ー一皮置(かいびん)、隠紙(いんぺい)は、厄難!

4. 古文書を読むことの意味  
ー歴史的な発見ができる。 がいち知らない事を知ることが多い!!

5. 用意する物  
\* 鉛筆またはシャーペン、 \* 消しゴム、 \* 原簿用紙(附録)  
\* 古文書用紙  
【須知】近世古文書解題字典 非売品版、明治近世編 和書判 2,726円 (税込)  
1972年5月発行以来、本会資料センターのベストセラー  
\* できれば日本史の事典(『角川日本史事典』が一般的)

男性の名前

9 8 7 6 5 4 3 2 1

全長  
河津  
三つ  
三つ  
小次郎  
三つ  
三つ  
三つ  
三つ

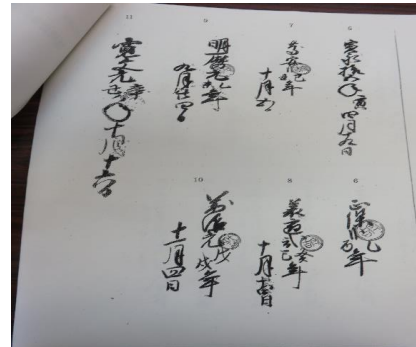
(資料) No. 2

1. 江戸時代の単位(江戸一帯はさきさき300町単位あり)  
1 町 10 100 1000  
2 町 10 100 1000  
3 町 10 100 1000  
4 町 10 100 1000  
5 町 10 100 1000  
6 町 10 100 1000  
7 町 10 100 1000  
8 町 10 100 1000  
9 町 10 100 1000  
10 町 10 100 1000  
11 町 10 100 1000  
12 町 10 100 1000  
13 町 10 100 1000  
14 町 10 100 1000  
15 町 10 100 1000  
16 町 10 100 1000  
17 町 10 100 1000  
18 町 10 100 1000  
19 町 10 100 1000  
20 町 10 100 1000  
21 町 10 100 1000  
22 町 10 100 1000  
23 町 10 100 1000  
24 町 10 100 1000  
25 町 10 100 1000  
26 町 10 100 1000  
27 町 10 100 1000  
28 町 10 100 1000  
29 町 10 100 1000  
30 町 10 100 1000
2. 町尺  
1 町 10 100 1000  
2 町 10 100 1000  
3 町 10 100 1000  
4 町 10 100 1000  
5 町 10 100 1000  
6 町 10 100 1000  
7 町 10 100 1000  
8 町 10 100 1000  
9 町 10 100 1000  
10 町 10 100 1000  
11 町 10 100 1000  
12 町 10 100 1000  
13 町 10 100 1000  
14 町 10 100 1000  
15 町 10 100 1000  
16 町 10 100 1000  
17 町 10 100 1000  
18 町 10 100 1000  
19 町 10 100 1000  
20 町 10 100 1000  
21 町 10 100 1000  
22 町 10 100 1000  
23 町 10 100 1000  
24 町 10 100 1000  
25 町 10 100 1000  
26 町 10 100 1000  
27 町 10 100 1000  
28 町 10 100 1000  
29 町 10 100 1000  
30 町 10 100 1000

町尺

1 町 10 100 1000  
2 町 10 100 1000  
3 町 10 100 1000  
4 町 10 100 1000  
5 町 10 100 1000  
6 町 10 100 1000  
7 町 10 100 1000  
8 町 10 100 1000  
9 町 10 100 1000  
10 町 10 100 1000  
11 町 10 100 1000  
12 町 10 100 1000  
13 町 10 100 1000  
14 町 10 100 1000  
15 町 10 100 1000  
16 町 10 100 1000  
17 町 10 100 1000  
18 町 10 100 1000  
19 町 10 100 1000  
20 町 10 100 1000  
21 町 10 100 1000  
22 町 10 100 1000  
23 町 10 100 1000  
24 町 10 100 1000  
25 町 10 100 1000  
26 町 10 100 1000  
27 町 10 100 1000  
28 町 10 100 1000  
29 町 10 100 1000  
30 町 10 100 1000

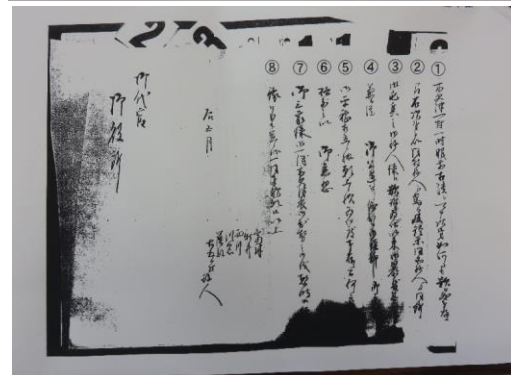
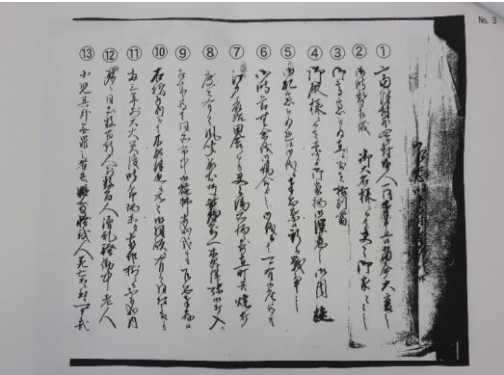
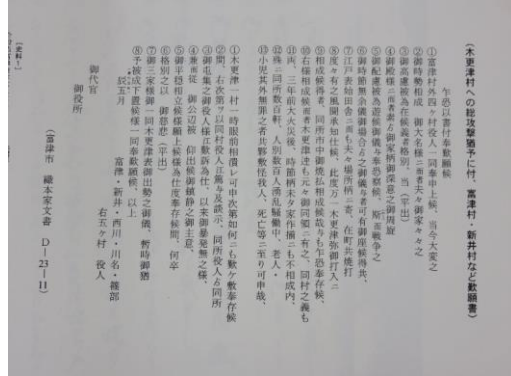
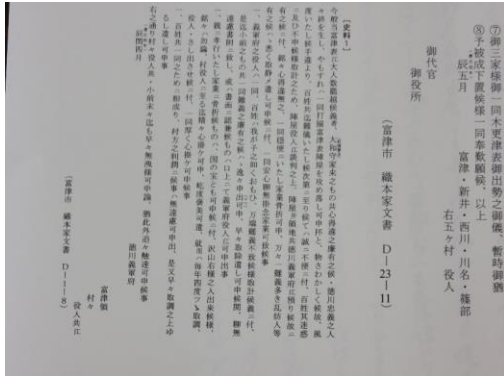
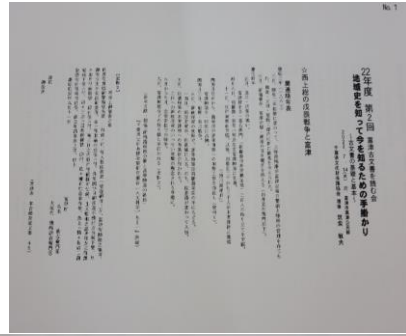
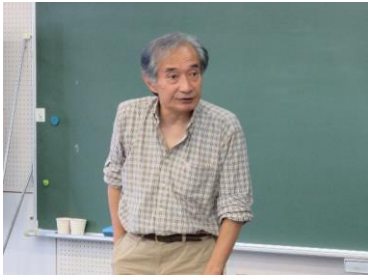
4. 町尺について(3年に一歩の割合)  
大(30尺) 小(29尺)



# 令和4年度 古文書を読む会 第2回

令和4年 7月14日(木)

古文書の読み方「西上総の戊辰戦争と富津」  
講師 筑紫敏夫 先生



# 令和4年度 古文書を読む会 第3回

令和4年 9月8日(木)

古文書の読み方「西上総の戊辰戦争と富津」  
近世村落における年貢割り付け状

22年度 第3回 富津古文書を読む会  
地域史を知って冬を知るための手掛かり  
古文書の基礎と基本  
富津市立歴史民俗資料館 館長 船山 誠二  
富津市立歴史民俗資料館 学芸員 船山 誠二

① 近世村落における年貢割付け状

② 年貢割付け状の読み方

③ 年貢割付け状の読み方

④ 年貢割付け状の読み方

⑤ 年貢割付け状の読み方

⑥ 年貢割付け状の読み方

⑦ 年貢割付け状の読み方

⑧ 年貢割付け状の読み方

⑨ 年貢割付け状の読み方

⑩ 年貢割付け状の読み方

⑪ 年貢割付け状の読み方

⑫ 年貢割付け状の読み方

⑬ 年貢割付け状の読み方

⑭ 年貢割付け状の読み方

⑮ 年貢割付け状の読み方

⑯ 年貢割付け状の読み方

⑰ 年貢割付け状の読み方

⑱ 年貢割付け状の読み方

⑲ 年貢割付け状の読み方

⑳ 年貢割付け状の読み方

㉑ 年貢割付け状の読み方

㉒ 年貢割付け状の読み方

㉓ 年貢割付け状の読み方

㉔ 年貢割付け状の読み方

㉕ 年貢割付け状の読み方

㉖ 年貢割付け状の読み方

㉗ 年貢割付け状の読み方

㉘ 年貢割付け状の読み方

㉙ 年貢割付け状の読み方

㉚ 年貢割付け状の読み方

㉛ 年貢割付け状の読み方

㉜ 年貢割付け状の読み方

㉝ 年貢割付け状の読み方

㉞ 年貢割付け状の読み方

㉟ 年貢割付け状の読み方

㊱ 年貢割付け状の読み方

㊲ 年貢割付け状の読み方

㊳ 年貢割付け状の読み方

㊴ 年貢割付け状の読み方

㊵ 年貢割付け状の読み方

㊶ 年貢割付け状の読み方

㊷ 年貢割付け状の読み方

㊸ 年貢割付け状の読み方

㊹ 年貢割付け状の読み方

㊺ 年貢割付け状の読み方

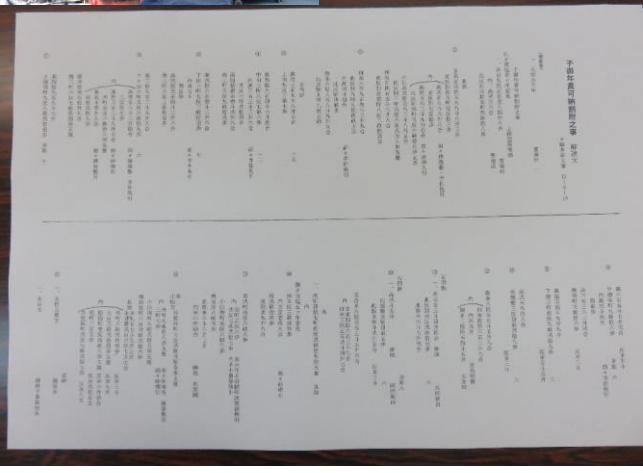
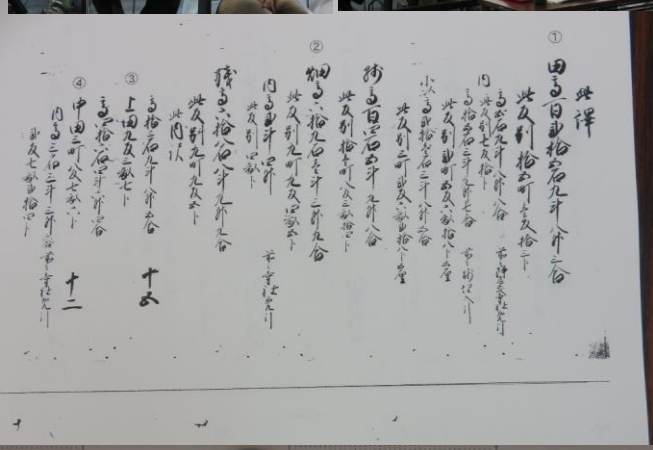
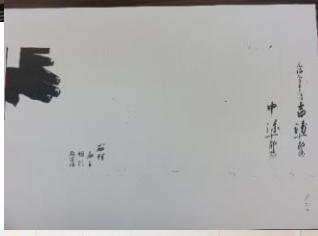
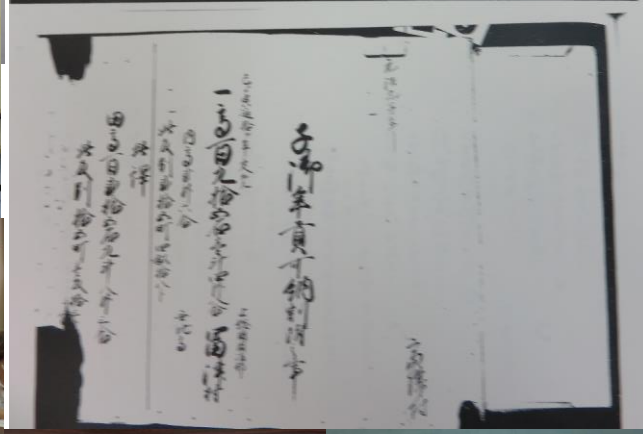
㊻ 年貢割付け状の読み方

㊼ 年貢割付け状の読み方

㊽ 年貢割付け状の読み方

㊾ 年貢割付け状の読み方

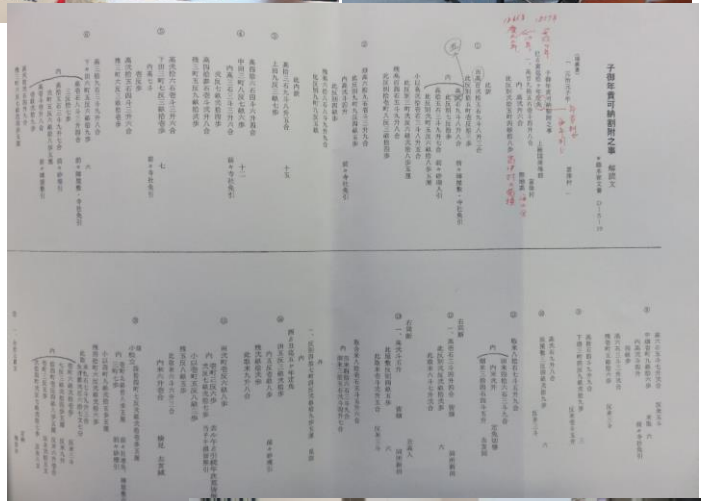
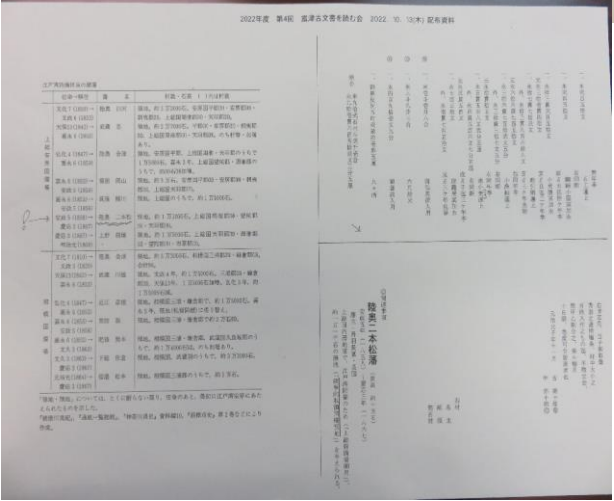
㊿ 年貢割付け状の読み方



# 令和4年度 古文書を読む会 第4回

令和4年10月13日(木)

近世村落における年貢割り付け状



# 令和4年度 古文書を読む会 第5回

地域史を知って今を知るための手がかり「富津村周辺の貝漁」

令和4年11月17日(木)



**22年度 第5回 富津古文書を読む会**  
**地域史を知って今を知るための手がかり**

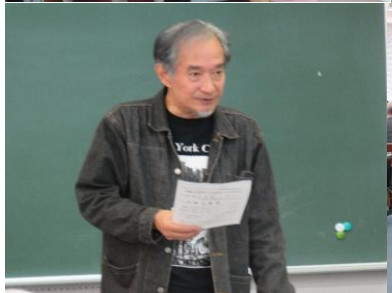
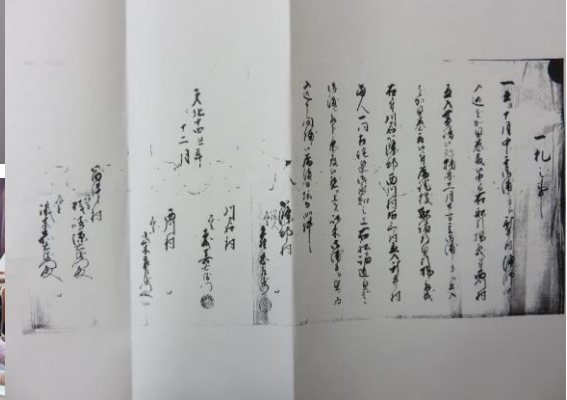
〔古文書の基本と基本〕  
 2022.11.16 (木) 於 富津市歴史民俗  
 千葉県文化財保護協会理事 筑紫 敏夫

**☆富津村周辺の貝漁(一)**

一札之事 (バカ貝採取に付託び入札) 解説文  
 \*織本家文書 D-125頁11

一、札之事  
 一、去十月中、其御浦方江新井村漁師申  
 入込、ばか貝採取候由二再、右船引揚被成候二付、西川村  
 立入買請候趣、猶亦十一月廿二日、其御浦方立入  
 ばか貝採取候二付、為証船・諸道具引揚被成、  
 右三付、川名・藤部・西川村、右三ヶ村立入、新井村  
 商人一同相託候所、御承加之上、右船・諸道具共二  
 入込申上候所、為後日取付如件

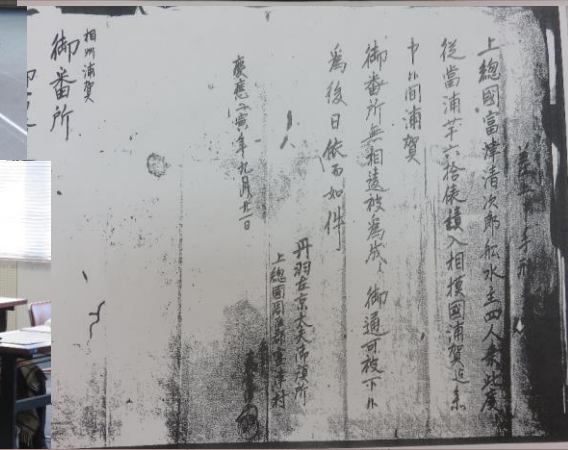
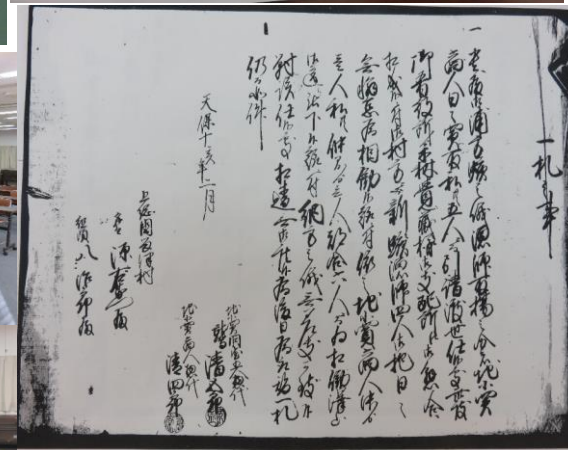
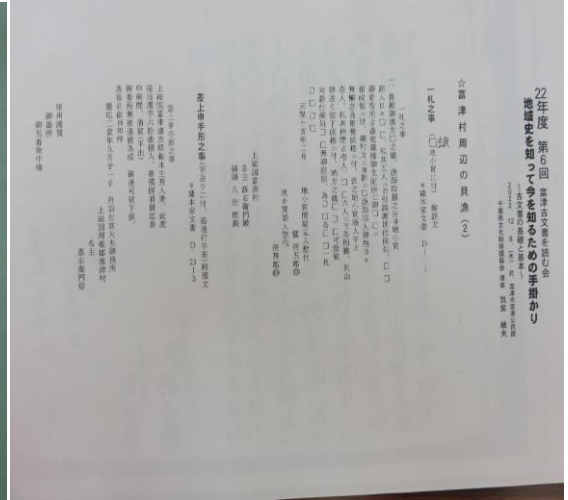
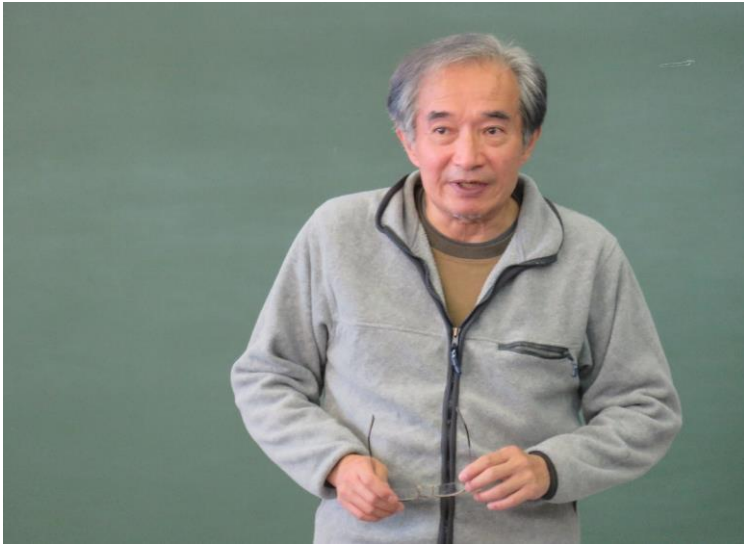
文化十四五年十二月 藤部村  
 内寄人  
 名主 平野忠左衛門  
 川名村 同  
 名主 藤右衛門  
 西川村 同  
 名主 小柴庄左衛門  
 富津村  
 名主 磯崎源右衛門殿  
 名主 織本嘉右衛門殿



# 令和4年度 古文書を読む会 第6回

地域史を知って今を知るための手がかり「富津村周辺の貝漁②」

令和4年12月8日(木)



# 令和4年度 古文書を読む会 第7回

地域史を知って今を知るための手がかり「押送船」

令和5年1月12日(木)

